



2025年度 教科「理科」関連学会協議会（CSERS）フォーラム



理科教育の未来を共創する

～児童・生徒の真の学力を育む観察・実験・探究活動とは～

GIGAスクール構想により、全国の学校現場では一人一台の端末環境が整備され、教育環境は大きな変革期を迎えている。これからの予測困難な社会を生き抜く子どもたちに求められる資質・能力を育成するため、「令和の日本型学校教育」が推進されており、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が求められている。特に、理科や社会科、総合的な学習（探究）の時間などにおける観察・実験活動は、単なる知識の確認にとどまらず、子どもたちが自ら問いを見だし、主体的に課題を解決していく問題解決型・探究活動型へと質的転換が期待されている。しかし、教育方法の改善が叫ばれる一方で、日々の授業実践において観察・実験、そして探究活動は真に充実していると言えるだろうか。一人一台端末の導入は、これらの活動をどのように深化させ、あるいは新たな課題を生み出しているのか。そして何より、これらの学びを通して、子どもたちにこれからの時代を生き抜くための「真の学力」が身についているのかが問われる。本フォーラムは、このような問題意識を共有する教職員および教育関係者が、校種や教科の垣根を越えて一堂に会し、日々の実践における成果と課題を率直に語り合う場である。それぞれの立場から活発な情報交換を行い、明日からの教育実践のヒントを得て、未来を担う子どもたちのための教育を共創していくことを目的としている。

教科「理科」関連学会協議会（CSERS）とは…

初等・中等教育における教科「理科」の内容の検討にあたり、その構成、目標、内容および内容の取り扱いに関して、関連学会間の意見交換、及び調整をはかり、学校教育のよりよい発展を目指すことを目的とした教科「理科」教育関連学会6学会で（日本物理教育学会、日本化学会/教育・普及部門、日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本科学教育学会、日本理科教育学会）構成されている。

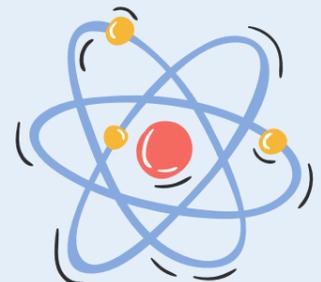
日時 2025年10月26日(日) 13:00～16:00

会場 Zoomによるオンライン形式



プログラム（12:30～13:00 Zoom接続）

- 13:00～13:05 開会挨拶 片山 豪（CSERS議長/日本生物教育学会）
- 13:10～13:30 講演1「観察・実験を通じた探究が育てる科学的思考力と理科教育の可能性」
話題提供：宇田川 麻由（筑波大学附属駒場中・高等学校）
（CSERS委員/日本理科教育学会）
- 13:30～13:50 講演2「AI時代の理科教育におけるICT活用と探究活動」
話題提供：中村 大輝（宮崎大学教育学部）
（CSERS委員/日本科学教育学会）
- 14:00～14:50 分科会（ブレイクアウトルームで意見交換をいたします）
- 15:00～15:30 分科会報告
- 15:30～16:10 総合討論
- 16:25～16:30 閉会挨拶 高橋 修（CSERS委員/日本地学教育学会）



申込み Peatix URL：<https://csers-2025.peatix.com>（裏面QRコードからも申込可）

締切 2025年10月12日（日）※定員（250名）に達し次第、締切となります。

主催 教科「理科」関連学会協議会（CSERS）

2025年度 教科「理科」関連学会協議会（CSERS）フォーラム

理科教育の未来を共創する

～児童・生徒の真の学力を育む観察・実験・探究活動とは～

講師紹介・講演内容

講演1 観察・実験を通じた探究が育てる科学的思考力と理科教育の可能性



宇田川 麻由 (Mayu Utagawa)



筑波大学附属駒場中・高等学校教諭。
東京都生まれ。筑波大学大学院生命環境科学研究科博士前期課程修了（農学修士）。神奈川県川崎市の公立中学校教員を経て、2011年度より現職。
専門は植物生態学だが、身近な生物の観察から分子生物学まで、生物分野全般の実験・観察教材の開発に取り組んでいる。
所属学会・研究会は、日本理科教育学会、日本生物教育学会、東京都生物教育研究会。CSERS委員（日本理科教育学会）。
東京書籍中学校理科教科書および高等学校生物教科書執筆、NHK高校講座生物基礎監修、文部科学省中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編作成などにも関わる。

講演2 AI時代の理科教育におけるICT活用と探究活動



中村 大輝 (Daiki Nakamura)



宮崎大学教育学部講師（2023年度より現職）。
東京都生まれ。東京都の公立小学校教員を経て、広島大学大学院教育学研究科博士課程後期を修了し、博士（教育学）の学位を取得。
専門は科学教育、理科教育、教育心理学。特に科学的探究を通じた思考力の育成、現代的な教育測定法の開発などの研究に取り組んでいる。
主な役職として、日本科学教育学会理事、日本理科教育学会広報委員会副委員長などを務める。CSERS委員（日本科学教育学会）。
主な著書に『生成AIで進化する理科教育－導入から実践までの完全ガイドー』（東洋館出版社、2024年）、『心理学・教育学研究のための効果量入門：Rを用いた実践的理解』（北大路書房、2024年）などがある。

日時 2025年10月26日(日) 13:00～16:00

会場 Zoomによるオンライン形式
※アーカイブ配信は行いません。

対象 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教職員及び管理職、教育委員会の指導主事等、関係職員、大学等の研究者、教職課程の学生、その他、本フォーラムの趣旨に関心のある方

申込み Peatix URL：<https://csers-2025.peatix.com>（下記QRコードからも申込可）
締切 2025年10月12日（日）

主催 教科「理科」関連学会協議会（CSERS）
問合せ 教科「理科」関連学会協議会（CSERS）事務局
csers.jimukyoku@gmail.com

